



泉州医療圏で大学病院と同等の 消化器癌治療を提供します



2023年4月より府中病院 外科センター長に就任した 田中 浩明（たなか ひろあき）と申します。これまで、外科医として28年間の臨床経験を積んできました。特に17年間にわたり大阪公立大学医学部で胃癌・食道癌に対する最先端医療と研究を実践してきました。これらの経験を活かし、今後は地域の患者さんのために粉骨砕身尽くしていく所存です。本日はこれまでの私の経験と大学病院と同等の医療体制を整えている府中病院の胃癌・食道癌治療についてご紹介いたします。

これまで大阪市内まで足を運んでいた消化器癌患者さんが、近隣で大学病院と同等の消化器癌治療を受けられるようになり、患者さんの負担を減らすことが出来るかと思えます。患者さんを安心してお任せ頂ける環境を整えておりますので、是非お気軽にご相談ください。

1. 自己紹介

卒業大学	平成6年（1994年）大阪公立大学卒業、 大阪市立大学 腫瘍外科学（現消化器外科学）入局
職歴	京都府京丹後市の国保弥栄病院、大阪公立大学附属病院、 テキサス大学サウスウエスタンメディカルセンター、 東京大学医科学研究所 外科
研究題目	消化器癌に対する外科治療、薬物治療、免疫治療
主な資格	日本消化器内視鏡学会 専門医 日本外科学会 専門医、指導医 日本消化器外科学会 専門医、指導医 消化器癌外科治療認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本内視鏡外科学会 技術認定医（胃） Certificate of Da Vinci Console Surgeon
学会評議員	近畿外科学会 評議員 日本胃癌学会 代議員 日本消化器外科学会 評議員 日本消化器癌発生学会 評議員 日本バイオセラピー学会 評議員 日本臨床外科学会 評議員 日本癌学会 評議員

2. 外科手術だけではない豊富な経験と実績

・ 外科手術

研修医終了後の1998年から大学病院に戻る2010年までに、疾患は、消化器癌だけでなく胆石症や肝癌など肝胆膵領域、虫垂炎や腹膜炎などの緊急手術も含めた一般消化器外科手術を経験してきました。2013年に日本内視鏡外科学会技術認定医を胃手術で認定され、またJCOG胃癌グループのロボット胃切除医の認定も受けております。

大阪市立大学医学部付属病院での症例数（助手を含む）

癌種	術式	症例数
食道癌	食道癌切除再建	119例
胃癌	開腹胃切除	119例
	低侵襲手術（腹腔鏡およびロボット手術）	540例
	ロボット支援下手術	72例

・薬物治療

大阪市立大学医学部付属病院において胃癌・食道癌に対して**年間20-30症例**の薬物治療（抗がん剤治療）を行ってきました。胃癌においては施設の治験責任医師として活動し、JCOG胃癌グループで多くの臨床試験への参加登録を行ってきました。また、全国レベルの学会や研究会において、医師向けの胃癌治療に関する講演を**10年間で20回以上**行っており、薬物治療の観点も踏まえ、患者さんに最適な治療方針のご提案が可能です。

・免疫研究の成果

胃癌・食道癌の局所の免疫環境の解析や臨床試験、臨床データのまとめを行い、**110本以上の英語論文を**発表してきました。

結果の一つとして、胃周囲や食道周囲のリンパ節転移機構における局所の免疫環境のかわりについて本邦では唯一といえるデータを発表してきました。また、免疫チェックポイント阻害剤（オプジーボなど）の効果予測因子としての宿主免疫の関与についても明らかにしており、豊富な免疫研究の知見を活かし、それぞれの患者さんに対する免疫チェックポイント阻害剤の適用可否の判断を行っております。

・地域貢献

大阪市立大学医学部付属病院所属時に、地域の開業医の先生や一般市民の方々に大学病院の治療を知っていただくために、市民公開講座や医師会に協力いただき講演会を開催し、胃癌治療や免疫治療、薬物治療などについてわかりやすく説明してきました。

3. 胃癌治療

胃癌の罹患数は減少傾向になると思われませんが、以下2点が今後の課題であるといえます。

1. 高齢者やハイリスク患者に対する安全な外科治療
2. 高度進行胃癌に対する薬物療法と外科治療を組み合わせた集学的治療

・低侵襲性手術（腹腔鏡あるいはロボット手術）を基本とした胃切除

府中病院では、大学病院と同じ腹腔鏡、ロボット（ダビンチサージカルシステム）を導入しています。ロボット手術の特性は、精密な操作と拡大視が可能になったことです。特に狭い縦郭操作が必要となる食道胃接合部癌や、進行胃癌においても、出血量を少量に抑えながらの低侵襲手術が可能となりました。

免疫療法（免疫チェックポイント阻害剤（Immuno-checkpoint Inhibiter; ICI）の進歩により、高度進行胃癌でも切除可能な時代へ）

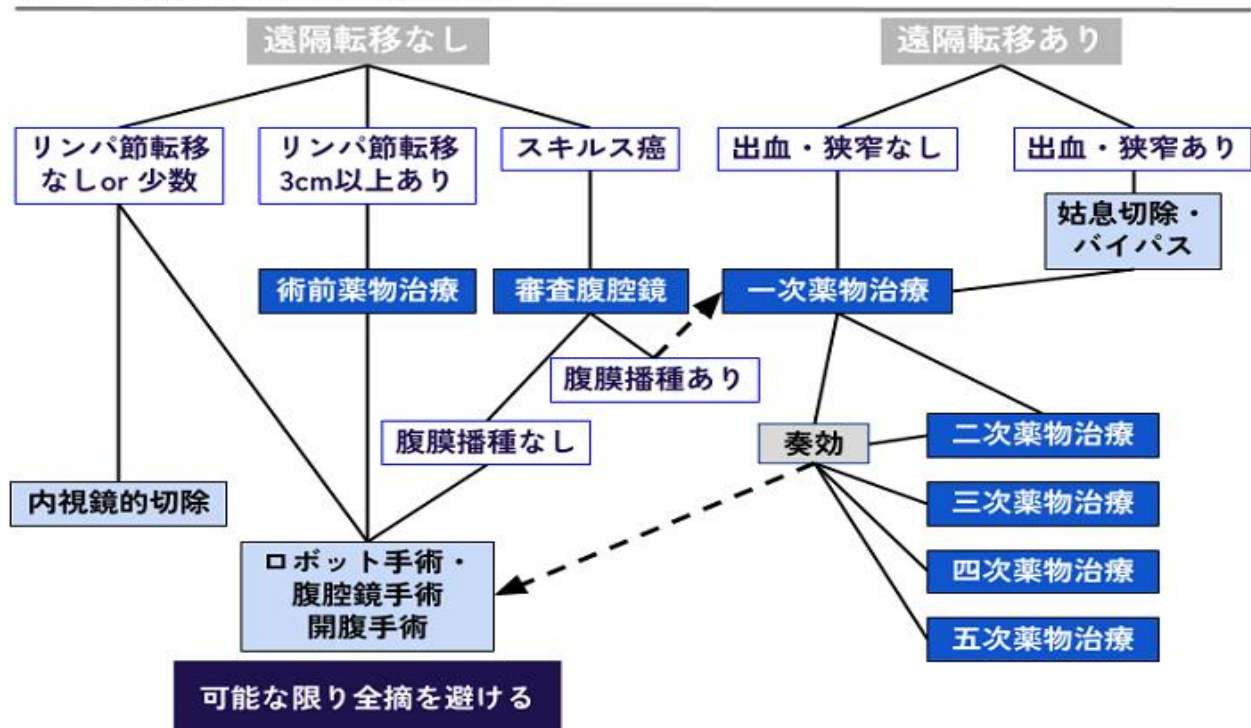
今から10年前までは、肝臓や腹膜などへの遠隔転移がある胃癌の予後は、半年から1年以内でしたが、薬物療法の進歩により、2-3年生存するケースが多くみられるようになりました。特に、免疫チェックポイント阻害剤（ICI）の登場は、治療成績を大きく変えました。

例えば、切除不能進行胃癌であっても、5年以上の長期予後が得られる症例が10%程度認められることがわかりました。さらに、現在では、進行胃癌の一次療法でICIと従来の抗がん剤との併用により、転移の縮小効果がより強く得られることが臨床試験で示されています。

ICIの進歩により、転移が薬物療法で制御され、残った胃癌を切除する、いわゆる「Conversion Surgery」が今後増えてくると考えられます。

一方、ICIなどの免疫治療が効果を示す症例は、胃癌全体のおよそ20%程度にとどまり、全員に効果があるわけではありません。よって、患者さんによってはICIを使用するのがいいかどうかを見極めないといけません。我々は、これまでの研究成果を生かして、患者さんそれぞれの免疫能を評価して、ICIを投与するかを決める治療を行ってまいります。

府中病院の胃癌治療方針



4. 食道癌治療

・ QOLの保持を第一に

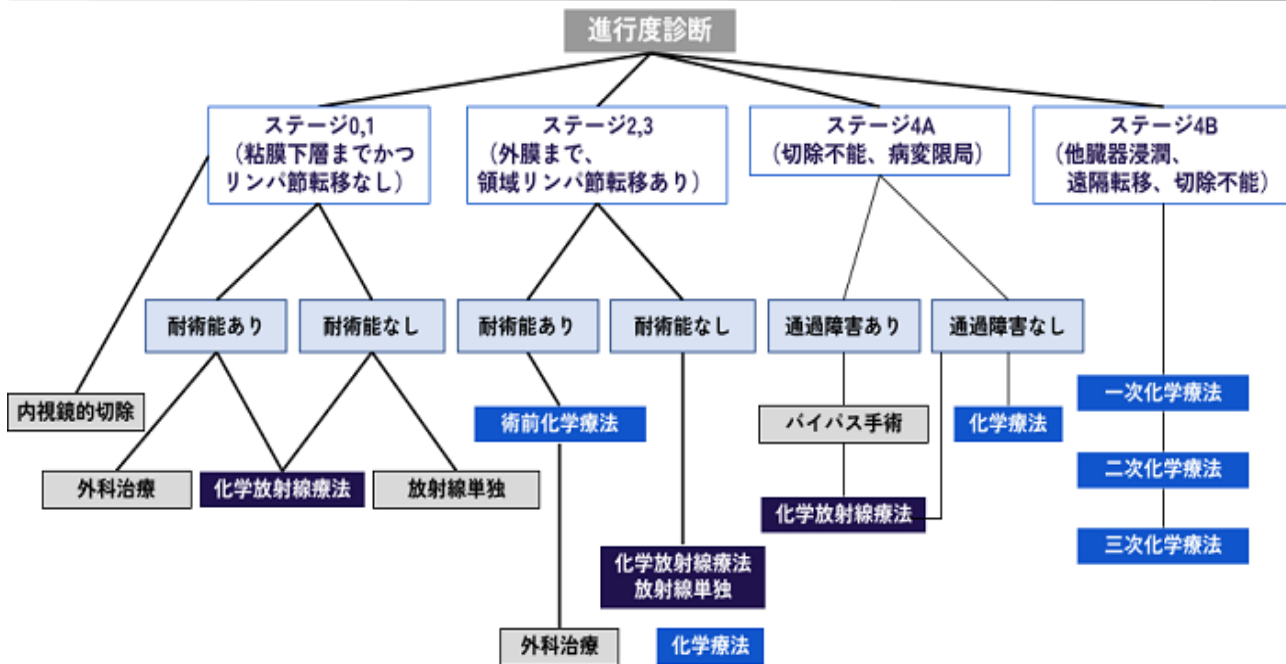
食道癌の外科治療は胸部・腹部・頸部の3領域を行う高侵襲の治療です。そのため術後の合併症発生率も高く、入院期間も2か月以上の長期になることがあります。

すなわち、安全な外科治療を行うこと、また、過大侵襲となる手術を回避することが重要であり、当院では以下2点の取り組みを行っております。

1. 安全かつ術後のQOLを考慮した外科治療
2. 薬物療法や放射線療法を組み合わせた集学的治療

胃癌と同様に食道癌にもICIが適応となり、薬物療法成績が向上しています。当院では、積極的に薬物療法や放射線療法を駆使しつつ、リハビリテーションを積極的にすすめQOLを保つことを第一に治療を行ってまいります。

府中病院の食道癌治療方針



5. 外科の目指すところ

府中病院の基本方針は「Excellent Hospital～最高の病院を目指す～」です。

われわれ外科では、高度専門医療を地域の皆様に提供するために、「わかりやすく丁寧な説明」「患者さんのQOLを重視した個別医療」「地域の先生方の要望に応える医療」を実践してまいります。胃癌、食道癌の疑いがある患者さんがおりましたら、お気軽にご紹介頂ければ幸いです。



外科センター長 ロボット手術センター

田中 浩明 (タナカ ヒロアキ)

外科センター

	月	火	水	木	金	土
午前	田中(浩) 西 遠藤	西岡 山添 田中(浩)	野田 竹内 増田	西 山添 西岡	増田 平田 野田	—
午後	西	田中(浩)	増田	—	平田/野田	—

・診察受付…8:00～11:45（診察は9時から）

・予約時間はあくまでも目安です。診療の状況により、お待ちいただく場合がありますのでご了承ください。

・診療体制は変更する場合がございますので、事前にご確認くださいませお願いいたします。



ご予約の申し込み・お問い合わせは地域医療連携室までご連絡ください

[TEL]0725-40-2147 [FAX]0725-40-2148

【予約受付時間】

●月曜～金曜:午前9:00～午後8:00まで ●土曜:午前9:00～午後5:00まで

※上記時間外及び日曜・祝日は業務を行っておりません。

※予約申込書は〈府中病院ホームページ〉よりダウンロードしていただけます。

New

当院にて開催予定のセミナー・勉強会・イベントをご紹介します！

第6回循環器と睡眠呼吸障害に関する懇話会（循環器内科）

※ハイブリッド開催・事前申込制

2023.7月

日時：2023年7月8日（土） 15:00～16:20

場所：府中病院アイセンター 3F会議室

お申し込みは地域医療連携室

0725-40-2147 までご連絡ください

VSRAD
ブイエスラド

早期アルツハイマー型認知症診断支援システム

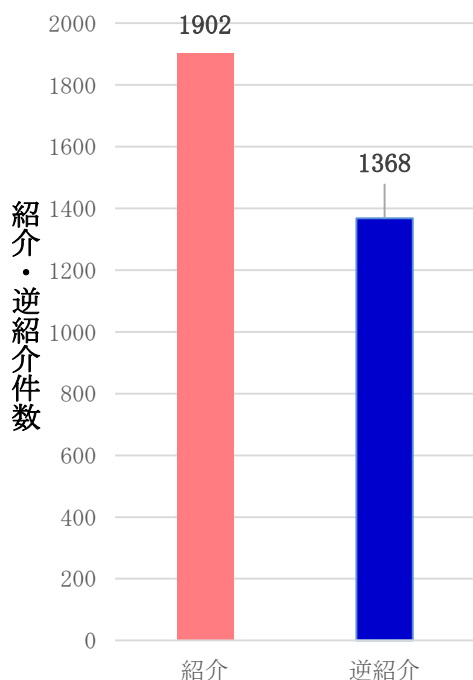
MRI 画像を使って脳の萎縮度をみる検査です！

もの忘れが気になる方で**54 歳～ 86 歳**の方が対象になります。
当院では地域の医療機関の先生方より頭部MRI+MRA 単純検査に追加撮影「**VSRAD(ブイエスラド)**」のご依頼を承っております。
VSRAD 検査をご希望される場合は、画像検査申込書の備考欄に「**VSRAD 希望**」とご記入いただくか、もしくはお電話での**検査予約時にお申し出ください。**

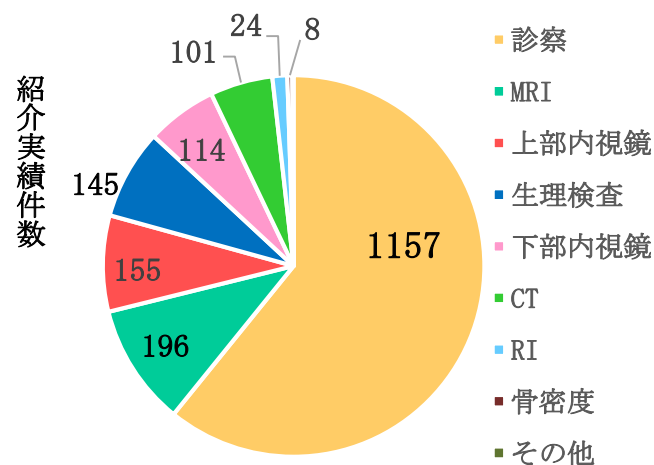
紹介実績 〈2023年4月〉



にこまる



紹介実績件数



府中病院
ホームページ



府中病院
facebook



府中病院
YouTube

ねっとわーく Vol.236

発行責任者：院長 竹内 一浩

編集責任者：地域連携部 家口 尚

編集者：地域医療連携室 鶴 真紀子

〒594-0076 和泉市肥子町1丁目10番17号 府中病院地域医療連携室

TEL：0725-40-2147 予約専用フリーダイヤル：0120-40-2147

FAX：0725-40-2148 E-mail：chiikirenkei@fh.seichokai.or.jp

私たちの理念

愛の医療と福祉の実現

地域と職員と共に栄えるチーム

Yu·ki·to·do·ku ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

チームとして、そしてパートナーとして

チャレンジします。

3つのベストにチャレンジします。